



# 学校だより

横浜市立六つ川台小学校

平成28年5月31日

6月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

## 「笑顔で 楽しく 思い出に残る 運動会」

学校長 柳澤 潤

今年の5月28日の運動会も、数々のドラマがありました。

前日に雨が降ったおかげで適度に湿り気があり、徒競走するにはもってこいのグランドコンディション。日差しも優しく、涼しさも感じます。地域の町内会長からは、「最高の運動会日和になり、よかったですね」と、励ましの声掛けをいただきました。次の週にはまた、強い雨が降ったので、いいタイミングで運動会を実施することができました。

応援に力が入る、すごい運動会でした。午前も午後も得点が均衡し、逆転があり、得点板が気になりました。団長も応援団も気合が入り、何より赤白対抗の応援歌は、ものすごい声が出ました。体全身をよじって、振り絞って声を出す様子があちらにもこちらにも見られました。千人ほどの声なのか、と思うほどの大迫力。圧倒的に、ここ数年の応援歌を上回り勢いがありました。

低学年リレー、高学年リレーも白熱。学年代表メンバーによる大接戦となり、全力の走り、バトンパス、抜いたり抜かれたりと、思わず声を上げる場面が続きます。勝者のチームには、特別にリレーの優勝杯の授与があり、校庭一周を先頭でウイニングラン。笑顔でゆっくり校庭を一周する姿が印象的でした。

高学年の騎馬戦では、騎馬を組んでいざ対戦というときに、騎手が立ち上がり、背伸びをして両手を高く挙げます。相手の帽子をとるために、少しでも大きく高くなったほうが優位に戦いを進めることができるからです。明らかに強そうな馬と、弱そうに見える馬があるのに、小さい馬が予想に反して相手の帽子を取った瞬間は、校庭中にどよめきが起こりました。特に、一騎打ちが見せ場でした。

午後になり、最後の得点発表までは、得点板には「ひみつ」と表示されます。すべての種目を終えて、いよいよ得点発表です。赤も白も自分の組が勝てたのでは、と期待が膨らみます。得点係の児童が発表します。「赤組、十の位0」、「白組、十の位0」。ここでも、何とも言えない声が上がります。続いて、「赤組、百の位3」、「白組、百の位3」。ここまで全く一緒、興奮は最高潮。「赤組、一の位2」しばらく校庭中が静まり返ります。いよいよ結果が分かります。「白組、一の位9」との声を聴いた瞬間、大きな歓声とため息。帽子が飛びます。結局、赤組白組の戦いは、最終得点が赤302点、白309点となり、わずか7点差で勝敗が決したのです。

印象的だった勝敗の劇とともに、「笑顔で 楽しく 思い出に残る 運動会」とのスローガンのとおり、1・2年生、3・4年生、5・6年生の低・中・高学年それぞれの合同の演技も、とても素敵でした。年度が始まってすぐの合同練習は、クラスの一体感を作ること、低・中・高学年それぞれの一体感を作ることにより力を発揮します。先生方のチーム力もぐっと深まります。低学年、中学年の演技は、リズムダンス。低学年は、元気よくはじける様子、中学年は切れのある動きがよく表現できています。隊形の変化も工夫を凝らしています。高学年は、伝統的にソーラン節の踊りを披露。練習では、6年生が5年生に踊りを見せて伝えます。今年は、腰を落とした低い構えがよくそろって力強さがあり、地域の町内会からお借りした法被が、表現に合わせて揺れ動きます。やはり、六つ川台の運動会の目玉は、迫力があります。6年生は、開会式での学年音楽演奏や各係の仕事など目まぐるしく働き、とてもやり切った表情をしていました。ここでの成長が、また一つ、台小のリーダーとしての自信となるのです。

会が終わってすぐ、敬老席のご婦人が近寄り、「いい運動会でした。子どもたちから元気をもらいました」と、嬉しそうに声をかけてくださいました。子どもが大活躍の運動会となり、地域・保護者の皆様から応援・声援をたくさんいただきました。大変にありがとうございました。